



平成 29 年 3 月 17 日

各 位

会 社 名 エヌアイシ・オートテック株式会社
代表者名 代表取締役会長 西川 浩司
(コード：5742、東証JASDAQスタンダード)
問合せ先 執行役員管理部長 藤井 透
(TEL. 076-425-0738)

平成 29 年 3 月期 通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月 17 日開催の取締役会において、平成 29 年 1 月 20 日の「平成 29 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）における連結業績予想を修正するとともに、平成 29 年 2 月 24 日の「平成 29 年 3 月期（第 46 期）期末配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました期末配当予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 29 年 3 月期 連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 連結当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,743	677	673	422	77.44
今回修正予想 (B)	8,000	796	797	508	93.22
増減額 (B - A)	257	119	124	86	
増減率 (%)	3.3	17.6	18.4	20.4	
(ご参考) 前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	6,176	563	565	363	66.73

2. 修正の理由

平成 29 年 3 月期通期の連結業績は、各セグメントの売上高が順調に推移し、前回公表した連結売上高の修正予想数値をさらに上回る見通しであります。特にアルファフレーム部門では、FA 装置 (FA : Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。)等に使用される「アルファフレームシステム」の大口案件の受注増加に加え、設計サポートシステム「カクチャ™」を含めた受注案件も伸ばいたしました。また、装置部門の洗浄・検査装置及びFPD (フラットパネルディスプレイ) 業界向けクリーンブース案件、並びに特殊仕様の構造物案件の受注も当初予測を上回りました。

利益面につきましては、売上高の伸長に伴い各利益も増加し、前年度より取り組んでいる業務効率化の一環として実施した主力工場の業務システム更新や新規機械設備導入等による経費削減効果も加わり、大幅な増益となる見込みであります。

なお、今回公表いたしました業績予想数値は、前期連結実績に対し売上高 29.5%増、営業利益 41.4%増、経常利益 41.1%増、親会社株主に帰属する当期純利益 39.9%増と大幅な増収増益であり、通期の各利益は、連結決算となってから2期連続、個別業績では3期連続で最高益を更新する見通しであります。

3. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (平成 29 年 2 月 24 日発表)	円 銭	円 銭 29.00	円 銭 29.00
今 回 修 正 予 想		30.00	30.00
当 期 実 績	0.00		
前 期 実 績 (平成 28 年 3 月 期)	0.00	23.00	23.00

4. 配当予想修正の理由

当社は、平成 29 年 2 月 24 日に期末配当予想として 1 株あたり 29 円の普通配当になる予定として公表いたしました。当期の業績も順調に推移し、株式を上場して以来、最高益更新となる見通しであることを踏まえ、1 株あたり 1 円の増額を実施することといたしました。

これにより、平成 29 年 3 月期の期末配当予想は 1 株あたり 30 円の普通配当となり、前期実績に対し 7 円の増配となる予定であります。

(注) 上記に記載しました予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出しており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上